

暮らしニア

夕映えの
人生90年時代
春日キスヨ

<26>

長寿化が進み、夫婦とも80代後半以上という最高齢期の夫婦世帯が増えつつある。

この人たちの話を聞くと、60、70代の頃には現在のよう暮らしになると考えたこともなかった人が多い。

「結婚して今年がちょうど70年」という夫96歳、妻88歳の夫婦もそうである。

この夫婦は長男夫婦と同居していたが、夫が79歳のときに長男が病死。その後、一緒に暮らしていた長男の妻も倒れた。夫は89歳のときに施設へ。3年後に妻も同じ施設に入った。

気などきにごんな老後を予想していたのかを聞いてみた。すると次のように言う。

「息子が」くなるまでは施設の年寄りなんかはかたして、自分が施設に

最高齢期の夫婦



絵・トウフクロ

思いもよらず妻を介護

あ心配だったんです。もつと早う死ねばよかったのにと思ってたほどでした」

ところがこの夫は、妻を介護したことはない。だが、最高齢期に妻を介護する男性も増えている。

2013年の高齢社会白書によると、介護者のうち、80歳以上の男性は20・5%、女性は8・7

以上では妻28%、夫64・0%。高齢になるほど、介護者に占める夫の割合が多くなる。

この事実に気付いた時は、私自身驚いた。なぜそうなるのだろう。女性の方が、認知症や骨粗しょう症、リウマチなど、介護期間が長期化する病気にかかりやすいという要因が関わっているようだ。

平均寿命は男性79歳、女性86歳。女性の方が長生きだから、男性は妻に介護され、妻より早死にすると考えている人が多い。しかし、思いもよらない最晩年期になるかもしれないのである。

(臨床社会学者 廿日市市)

結婚プロダクト